Japanese Utility Model Registration Application No. SHOU47-15281

Title of the invention: Printing Plate

Claim

A rubber relief printing plate having a configuration wherein many micro recesses (3 or 4) are provided on a convex portion 2 corresponding to a print object.

60Int.Cl. B 41 c B 41 d

10日本分類 116 A 72

日本国特許庁

①実用新案出願公告 昭47-15281

⑩実用新案公報

昭和47年(1972) 5 月31日 49公告

(全2頁)

1

90印版

願 昭43-111575 ②変

願 昭43 (1968) 12月23日 22)出

72)考 案 者 出願人に同じ

人 永富啓四郎 创出 願

東京都文京区音羽1の3の4

人 弁理士 北村誠三郎 代 理

図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る印版の平面図、第2図は 印刷画面断面拡大説明図、第3図は本考案に係る 印版の1部断面拡大図、第4図は第3図の表面-部拡大断面図、第5図、第6図及び第7図は夫々 考案の詳細な説明

本考案はゴム凸版印刷において印刷面に適当な 厚さのインキを容易に盛ると共に、印刷面周辺に 過剰のインキが盛られることを防止する目的で、 構造の凸版印刷用ゴム印版に係るものである。

ゴム凸版印刷はその製版費用が廉価であること 印刷機械が比較的低廉であること、及び印刷技術 が容易であること等によつて最も一般化した印刷 ージナルゾーンがあつた。

即ちゴム凸版印刷において通常の印刷紙に油性 インキで印刷する際であつても印刷面に充分にイ ンキを盛るときには着肉ローラー上のインキ層の 厚さと印圧とを調整しても尚第2図に示すように 30 にその表面に転移すべきインキを付着しているの 印刷面周辺に過剰インキ6が盛られマージナルゾ <u>ーンといわれる現象が屢々現われて、所謂裏移り</u> その他の問題を生じる。特に段ポール紙等の凹凸 面に対して印刷する場合、及び被印刷面がインキ の滲透、圧入を許さない合成樹脂体に対して印刷 35 じるようなことがなく、凹溝中のインキが被印刷 する場合には、積層印材を使用することにより、 印材表面ゴム硬度を選択することにより、着肉ロ ーラー上のインキ層の厚さを調整することにより

尚、印圧を調整することを行つても尚、印刷面に 充分なインキを盛る際にはマージナルゾーンが避 けられなかつた。本考案はマージナルゾーンの現 れない印刷をすることのできる大なる利点を有す 5 るゴム凸版印版に係るものである。

以下図面詳述すること以下の通り。

第1図に示すようにゴム印材1に所要凸部2を 設けたゴム凸印版の表面に適当間隔をおいて極微 少な凹溝3を多数付設したもので、この凹溝は第 10 1 図及び第5 図に示すように一方向に平行状であ つても良く、第6図に示すように縦横に平行状で あつても良く、又は第7図に示ずように不連続の 微小凹部4であつても良い。

この極微小凹溝の幅はtom/mより小であるこ 本考案に係る印版の表面一部拡大平面図である。 15 とが好ましく、且つ1cm当り10線以上が好まし く尚その線間間隙は凹溝の幅より狭くなければな らない。又、凹溝を作成する一方法として、写真 凸版作成の技術を応用し所要凹溝3に相応する凸 表面を具えた金属等の原板を作成し、これにゴム 画面に対応する凸部に極微小な凹部を多数設けた 20 材を鋳込んで本考案に係る印版を彫刻する印材を 造る場合、ゴムの特性をも勘考して加工技術的に 許される範囲においてできるだけ幅の狭い凹溝を 間隙を狭くして付設する方が印刷画面の仕上りを 広い範囲に仕上ることができる。尚凹溝の断面形 法であるが、ゴム凸版印刷に特有な現象としてマ 25 状及びその大小は使用インキの特性並びにインキ 盛りの程度によつて適宜決定すべきであることは いう迄もない。

> 本考案に係る印版はその凹溝中に転移すべきイ ンキを保持しており、従来のゴム凸版印版のよう でないから、印版が被印刷体に印圧を以て圧着し た際、インキが印版と被印刷体との挾圧によつて 第2図に示すように被印刷体5上の印刷画面6の 周辺に押し出され過剰なインキ盛り7の現象を生 体に適当に移し、必要にして且つ平均なインキ盛 りの印刷画面を形成する。

この印版の効果は、段ポール紙等の凹凸面に対

3

して印刷するときのように印圧を強くしなければ 紙面の凹部に印版が圧着しない場合、及び合成樹 脂体等であつてインキの渗透圧入を許さないもの に対して印刷するときのように印圧がそのまま転 移されたインキを周辺に押出す作用となる場合に 5 最も顕著に現われる。 4

特に<u>油性イン</u>キを使用するゴム凸版印刷においては、従来のゴム凸印版に伴う総ての欠点を排除する大なる利点を有するものである。

実用新案登録請求の範囲

画面に対応する凸部2に極微小な凹部(3又は4)を多数設けた構造の凸版印刷用ゴム印版。

